



岐阜工業高等専門学校
建築学科 准教授

青木 哲氏

健康から建物造りを考える



ダニを数えた日々

大学在学中、卒業研究としてアレルギーに関する研究を勧められたことがきっかけで建築と健康に関わることに興味を持ちました。その当時は床材のダニを顕微鏡で数えるという、とても地味な研究でしたが、その後、「室内環境と健康」について勉強・研究を進めるにつれ、多岐の分野にわたり非常に難しい問題ではあるけれども、人の幸せを導く、やりがいのある研究だと感じました。



フィールドワークから見る建築学

最近では小さな子どもの居る世帯の住宅や幼稚園・保育所、高齢者施設の室内温度・湿度環境の実測調査を中心に行っており、インフルエンザやアレルギー疾患など、各種疾患との関わりについて検討しています。また、室内環境に影響を及ぼす建材や機器の影響についても検討を始めています。フィールドワークを中心にしているのは、建物は同じでも、異なる人が暮らせば同じ環境には絶対にな

岐阜市近郊の研究者を中心に連携できる内容を紹介し、企業との橋渡しを目指しています。



相談できる内容

- ・ 室内の温湿度環境の実測と分析
- ・ 温湿度環境とアレルギー疾患との関係
- ・ 温湿度環境、住まい方に関する資料制作

研究内容・専門分野

- ・ 室内環境と健康に関わる内容全般
- 現在、主に子どもの居住住宅、幼稚園・保育所、高齢者施設を対象としている。

連携実績

- ・ 住宅におけるペットアレルギー除去の性能評価
- ・ 幼稚園、保育所での加湿性能評価

取材

岐阜市役所商工観光部
産業振興課 新産業G
TEL: 058-265-4141 (代)
内線 6253

編集後記

スギ花粉の季節も過ぎました。アレルギーの方にはやっと楽になったのでは。この世界に入ったきっかけがアレルギーとおっしゃる先生、実は相当な持ち主だそうです。建築にはシックハウス、ダニなどアレルギーの要因があるそうです。先生の研究が活かされた住む人であった「健康的な建物」が見つかるといいですね。

らないという観点からです。また、実測してみなければ分からないことも多数あります。

例えば湿気によるダニの発生を気にされている住宅で、実は乾燥気味でダニは少ないということもありました。建物は人が使うものであり、「造る前」も大事ですが、「造った後」に室内環境はどうなるか・どうすればよいのかという点が、健康とダイレクトに関係してくる重要なことだと考えます。パーフェクトな建物の規格を作るよりも、「造る前」に使用手の家族構成、ライフスタイル、健康状態などをフルオーダーメイドで反映させ、「造った後」もフレキシブルに対応できる建物こそが理想的なのでは？と個人的には思っています。

室内環境と健康のつながりの深さ

温度や湿度の測定は、計測機器も安価になり簡単になってきていますが、その分析にはノウハウが必要です。「造る前」のお客さまに提示する資料作りだけでなく、「造った後」の暮らし方のアドバイスも健康の確立だけでなく、安心を与えらるのに必要だと考えています。冒頭に書きましたとおり、「室内環境と健康」は非常に難しい問題で、ある人にはパーフェクトな対策であっても、他の人にもパーフェクトになるとは限りません。健康な建物造りに関してのご相談にも乗りますが、ご一緒に考えていく形でのお手伝いも歓迎いたします。



岐阜工業高等専門学校

建築学科
TEL: 058-320-1211 (代表) E-mail: taoki@gifu-nct.ac.jp

あおき てつ
名古屋工業大学大学院博士前期課程社会開発工学専攻修了。博士(工学)。趣味は作曲、庭いじり、息子のための列車の動画撮影など。静岡県出身。